

コロナ禍・東北地震のなか賃上げを要求するなんておかしいんじゃない?と感じている方、

根拠

要求するしっかりとした根拠があるんです!

JTSU-Eは、2021春闘において、「定期昇給実施（昇給係数4）」「全組合員一律ベースアップ 3,000円」「特別給付金 10万円（医療従事者は+5万円）」の申し入れを行いました。

「このご時世に賃上げなんてもってのほか」と思っている方もいるかもしれません。たしかにJR東日本は発足後初めてとなる赤字経営に直面しています。9/16に公表された業績予想は下方修正され、過去最高の最終赤字を計上しています。

しかし、会社は2020年度では7,110億円に上る設備投資額を計上しており、「今後の収入が見込める成長投資だから中止はしない」と言われています。私たちは全ての投資が無駄だと言っているわけではありません。ただ、将来を見据えて設備投資をするのなら、同じく将来を見据えて社員への人材投資もすべきだと言っているのです。

それは、いくら設備を整え、自動化を進めても、最終的にお客様にサービスを提供するのは現場の社員であるからです。今後JR東日本がお客様から寄せられる期待・社会から求められる使命を果たすためには「人財」の活用は必須であり、その為の社員への還元こそが会社経営を支える底力になると考えるからです。ですから、計画されている施策・投資のあり方をゼロベースで見直し、今必要なものは何かを検討すべきだと訴えているのです。

JTSU-E 21春闘要求項目

定期昇給実施(昇給係数4)

全組合員一律ベースアップ
3000円

特別給付金
10万円

医療従事者は+5万円

要求しなければ

もらえない

=申し入れることで
初めて会社が
検討をする

※「雇用」の維持は大前提

回答指定日 3月19日

職場では新型コロナウイルス感染症の恐怖を感じながらも、JR東日本が期待されている社会的使命を果たすために日々の業務を担っています。

ですから、私達JTSU-Eは、今春闘の賃上げを堂々と要求します!